

2021年10月14日

各位

株式会社 北海道銀行

規格外農産物と旭山動物園のマッチングについて

北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、東旭川農業協同組合（代表理事組合長 畑山 義裕）における規格外農産物を旭川市旭山動物園（園長 坂東 元）に動物用飼料として継続的に提供する取り組みをコーディネートいたしました。

本件は、食品ロスの削減に加えて、コロナ禍で入園者が減少する動物園の支援を目的として取り進めたもので、本年3月の帯広市おびひろ動物園に続く2例目のコーディネート事例となります。

当行は、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、SDGsの視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組み、地域経済・地域社会のサステナビリティの向上を目指してまいります。

記

1. 取組概要

(1) 経緯

東旭川農業協同組合における集荷・選別を通じて従来廃棄されていた規格外農産物が、旭山動物園における「動物用飼料」として利用可能であると考え、その有効利用策として当行から両者へ提案しました。両者の協力のもと、本年7月から試行提供期間を経て取り組みが継続されています。

(2) 内容

東旭川農業協同組合より旭山動物園に対し、ピーマン等の規格外農産物が継続的に無償提供されており、チンパンジーやオランウータンなど多くの野生動物の飼料として活用されています。

本件により、廃棄農産物の「もったいない」を減らして地域内で有効活用されるとともに、動物園においては飼料費の低減に繋がります。



2. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 アグリビジネス推進室 松田 TEL 011-233-1066
広報CSR室 小山・西東 TEL 011-233-1005